

ウインタースポーツの魅力PR特別テレビ番組制作放送業務 公募型企画競争に係る質問及び回答(12月7日現在)

番号	質問内容	回答
1	<p>説明会にてキービジュアルのお話を頂いたと思いますが、こちらはこういったものを想定されておりますでしょうか。</p>	<p>仕様書のうえでは、キービジュアルの作成は業務内容として必須なものではありません。 ただ、出来るだけ多くの方々に番組をご覧いただくための宣伝をWeb上やフライヤーなどで行う際に使えるような、ロゴやシンボルマーク、イメージフォト、キャッチコピーなどを組み合わせて作られたものがあると非常にありがたいと考えているというお話をさせていただいたところです。 つまり「札幌オリンピックからの50周年を振り返りつつウインタースポーツの魅力やスポーツによるまちづくりについて伝えたいのだ」ということを可視化して、一見して伝えることができるものが独自提案の中で出てくると、とてもうれしいということを説明会でお話をさせていただいたものです。 なお、今後、札幌市として、札幌オリンピックからの50周年を振り返りつつウインタースポーツの魅力やスポーツによるまちづくりについて伝えていくにあたって、そのビジュアルの一部を修正するなどして、今回の広報特別番組以外などでも長きにわたって使っていけるようなものであると、非常にありがたいと考えております。</p>
2	<p>2次利用について使いたい場面の想定はございますでしょうか。</p>	<p>仕様書「3 業務内容」「(1)特別番組の制作・放送」⑦-Aにあるとおり、独自提案として2次利用の提案があった場合の使用法としては、『市有施設での放映、本市が運営するホームページ及びYouTubeでの放映、本市が主催する参加無料のセミナー・講習会等での放映等』を想定しております。</p>
3	<p>特番の内容は従来の広報要素が強い番組ではなく、説明会でのお話から、エンタメ性に富んだ番組と捉えたのですが、このような認識で宜しいでしょうか？</p>	<p>ご質問にある「従来の広報要素が強い番組」が具体的にどの番組を示しているかはわかりませんが、まずは「札幌オリンピックからの50周年を振り返りつつウインタースポーツの魅力やスポーツによるまちづくりについて伝える」という業務目的が達せられることが担保されることが必要であることは言うまでもありません。 そのうえで、視聴者がほかのことを忘れて番組に引き込まれるように楽しく見ていただくことが出来、かつ、札幌市が伝えたいことがしっかりと伝わり、広報の本来の役割である、見ている方の行動変容にまでつながる番組の提案を期待しております。 一言で言えば、堅苦しい、いかにも役所的な平坦に情報を伝える番組は望んでおりませんが、必ずしもエンタメ性ばかりを望んでいるわけではありません。</p>